

” 2012年度 桂川・相模川流域協議会事業『流域ウォーキング』報告”

『清く豊かに川は流れる』桂川・相模川の現状を再認識しよう！

2012年8月16(木) 9:30～16:00
茅ヶ崎海岸～水道水質センター 報告:中門

気温34° 猛暑日の一日、10数年振りに桂川・相模川を歩いて見ようと『真夏の暑い日を選んでウォーキングをやることもないでしょう』という声のある中、思い立ったが吉日と代表幹事の一声で計画しました。 時間不足のために一部コースをパスしたが、第2回につながることを期待して報告します。

”参加者: 会員、一般参加者、事務局 23名”
藤間資料館のご主人と屋敷の木陰で記念撮影。

”茅ヶ崎海岸の侵食と現況を見学”
どうして砂がなくなったの？など質問が多発！

桂川・相模川流域ウォーキング 第1回 下流域左岸を歩く

桂川・相模川流域の 自然と史跡を巡る！



清く豊かに川は流れる

桂川・相模川流域協議会

第2回予告
神川橋～相模大橋
左岸の寒川、海老名を歩く



”馬入河口から富士を望む”
右岸側(平塚市)では津波対策の防波堤の建設中



”藤間屋敷で相模川舟運の繁栄期を勉強する”
近世の土蔵跡とキャラの木(2世を移植済)



キャラの木
神奈川の
名木100選

藤間雄蔵氏

関東大震災(大正12年)時に突然と現れた相模川旧橋脚跡は、相模川の昔の流路を知る上で貴重な史跡として往古を偲ぶことができる。
出発時は照りつける太陽の日差しが強く日影が欲しいくらいでしたが、相模川の左岸河川敷をウォーキングする頃には薄雲が強い日差しを遮り、
水害防備保安林近くの整備された河川敷の草むらは座って食事するには最適の場所であり、和やかに語らい、交流を深め休息することができた。

”下町屋 相模川旧橋脚跡史跡”
保存のため旧橋脚は池の下でモニュメント立つ



”国指定史跡旧相模川橋脚第2次確認調査”
新たに橋杭を支える厚板と墓の跡が確認された



”相模川下流域左岸を歩く”
平太夫新田、萩園の河川敷から相模川を望む



”相模川の河畔林を育てる会活動紹介”
会長の藏前氏からパネルを使って紹介された



”河畔林で和やかな昼食休憩の一齣”
山梨東部地協から勝又会長、高取氏参加



”相模川保安防備林と左岸堤防”
移植されずに残された防備林を見ながら歩く



県の『特別保全地区』に指定された茅ヶ崎北部の”清水谷”は想像していた以上に自然豊かな環境であり、20年以上に渡る保全活動の賜と思えた。水道水質センターでは、良質な水道水の要件を満たすための検査と昨年の東北大震災以降に高まったセシウム検査を加えて150項目以上の検査が行われ、水質検査結果が公表されている。時間の関係で茅ヶ崎里山、神川橋下”カワラノギク圃場”見学ができなかったが有意義な一日が過ごせた。

”清水谷を愛する会 佐々木会長”
今年3月『特別保全地区』に指定されました



”木漏れ日の中、清水谷の木道を歩く”
『愛する会』は1991年9月発足、長い歴史がある



”中池をバックに谷の保全を語る会長”
現在38名の会員が毎週火曜日保全活動中



”相模川の支流-駒寄川の源流の湧水”
源流の流出は僅かですが貴重な恵みの一滴！



”水道水質センター活動を見学”
150項目以上の検査をして”水の安全を守る”



”無菌室、培養室、塩素試験を説明”
参加者全員、初めての所内見学で質問多発

